

2020年5月

# 全国協議会ニュース

簡易版

## 患者さんのために 輸血用血液の安定供給に尽力

コロナ禍でも患者さんへ安定的に血液を届けるため  
日本赤十字社様では献血に並々ならぬ努力をしてくださっ  
ています。誰もが不安な中、そのご尽力に感謝いたします。

新型コロナウイルス  
拡大防止の為、第  
335号の発行は中止  
といたしました。  
簡易版としてHPで  
お届けいたします。

平素より日本赤十字社の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
新型コロナウイルスの感染拡大が続いているこのような非常事態にも関わらず、献  
血会場に足を運んでくださっている皆様に対し心より感謝申し上げます。

令和2年2月中旬頃から、多くの人が集まるイベントの中止や延期のほか、企業  
の在宅勤務やテレワーク、時差出勤などの感染防止措置が継続されるなどの影響  
で、予定していた献血会場での献血実施が多く中止され、献血ルームの協力者も減  
少するなど深刻な状況が続いておりました。

その後、報道や国民の皆様へのSNS投稿など多くのご支援をいただき、一時的に  
輸血用血液の在庫量は回復しましたが、4月7日に発令された緊急事態宣言が全国  
に拡大されるなか、今まで以上に不要不急の外出を控えることが見込まれ、献血ル  
ームや街頭における協力者も非常に少なくなることが懸念されます。

このような事態においても、毎日約3,000人あまりの患者さんが輸血用血液を必要  
としています。また、他に代わるものがない輸血医療に使用される輸血用血液は、  
日々安定的に患者さんへお届けする必要があることから、輸血用血液の在庫量を適  
切な水準で維持していくことは極めて重要です。

日本赤十字社（以下、日赤という。）では、国の需給計画や医療需要に沿って、必  
要な献血血液の確保に努めており、現在必要な輸血用血液の供給に支障は出ていな  
いことから、4月17日時点で「不足」といった表現は適切ではありませんが、新型  
コロナウイルスの感染拡大が予測されるなかで、献血血液の確保は最重要課題で  
す。引き続き、輸血用血液を安定的に医療機関にお届けするため、一時期に偏らな  
い継続した献血へのご協力にご理解とご協力をお願いします。

また、献血をされる方が一時期に集中することによる密集や密接を避けるため、  
そして、有効期間の短い輸血用血液を必要量に応じて確保していくため、【ご予約に  
よる献血】をお願いしていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

・献血のご予約をお願いします

[http://www.jrc.or.jp/activity/blood/news/200317\\_006118.html](http://www.jrc.or.jp/activity/blood/news/200317_006118.html)

日本国内では、日赤が血液製剤の原料となる血液の採血、輸血用血液製剤の製造  
及び医療機関への供給を行う唯一の事業者であり、輸血用血液がなければ医療その  
ものが成り立たない事態を招きかねません。

必要な輸血用血液の安定供給は、日赤の使命として、事業継続のため可能な限り  
の対応を進めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願  
いいたします。  
(日本赤十字社 血液事業本部 広報担当)

## 各地のたより

手作りマスクと  
支援の輪

このごろ毎日、新型コロナのニュースが流れています。マスクはなかなか手に入りません。そんな中、姫路鷺城ライオンズクラブ様より手作りマスクを寄付したいとの電話をいただきました。

そしてその後も神奈川県のパーク有限会社が運営する布工房アトリエ河島様からもお申し出をいただき、手作りマスクをいただきました。本当にありがたいことでした。

鷺城ライオンズクラブ様とは献血併行型ドナー登録会でご協力いただいております。早速、説明員と、会場でドナー登録して下さった方に配布したいと思っております。私たちボランティア・説明員も、一人でも多くの方が命をつなぐ活動にお役にたてればと再度確認し、今後の活動を進めていきたいとおもっております。

(姫路地区骨髓バンク推進センター 濱田恵子)



(左:鷺城ライオンズクラブ会長 砂川武志様 右:姫路の会 代表 延原順子様)

1990年6月24日に設立した全国骨髓バンク推進連絡協議会はおかげさまで今年設立30周年を迎えることができました。ご支援いただきました皆様に感謝申し上げます。

設立30周年式典を以下のとおり行います。新型コロナウイルス拡大防止の為、WEBでの式典を開催いたします。

2020年5月30日(土)13時から Zoom を利用した WEB 式典

観覧ご希望の方には招待メールをお送りします。以下のアドレスまでご連絡ください。

office@marrow.or.jp 全国協議会事務局まで。メールタイトルを「設立30周年式典観覧希望」とし、5月28日(木)17時までにお送りください。



# 心からのご寄付に感謝申し上げます

●3月21日～4月20日(敬称略)

## ●一般

株式会社テクノワ情報システムズ	現金	20,867円
塩谷 泰人	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
モリ リョウタ	現金	3,000円
匿名	現金	3,000円

## ●白血病患者支援基金

ブックオフコーポレーション株式会社	現金	82円
兼元 亨	現金	3,000円
匿名	現金	50,000円

## ●佐藤さち子基金

骨髄バンク普及啓発ボランティアらいらっくの会	現金	30,000円
兼元 亨	現金	2,000円
匿名	現金	50,000円
匿名	現金	50,000円

## ●こうのとりのマリン基金

匿名	現金	5,000円
----	----	--------

## ●募金箱

株式会社クスリのアオキ	現金	348,749円
株式会社 マルト商事	現金	286,093円
株式会社北越ケーズ	現金	151,985円
やきとり「おばこ」堀裕子	現金	5,670円
磯屋食堂 伊藤博康	現金	6,811円
金寿司	現金	5,000円
鎌倉屋	現金	3,874円
鈴木眼科	現金	10,000円
松野薬局 東光店	現金	1,761円
松野薬局 東光店	現金	1,761円

## ●つながる募金

現金	15,703円
----	---------

## ●キモチと。

現金	15,253円
----	---------

## ●ブック寄付

現金	451円
----	------

## ●高島屋友の会

現金	202,920円
----	----------

## 新しい賛助会員の皆さま紹介

村田将真＝山口県

### 活動資金の支援をお願いします

- 郵便振替口座 00150-4-15754
- 三井住友銀行新宿通支店 (普通)5666655  
口座名義(共通)／「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

### 骨髄バンクNOW

《MONTHLYJMDP (4月15日発行) より抜粋》

#### ■ 日本骨髄バンクの現状 (2020年3月末現在)

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,989	3,103	529,965	827,854
患者登録者数	209	237	1,929	58,954
移植例数	104	87	—	24,234

#### ■ 3月の区別ドナー登録者数

献血ルーム／1,110人、献血併行型集団登録会／1,927人、  
集団登録会／1人、その他65人

#### ■ 3月の年齢別ドナー登録者数 (現在数)

10代 5,004人／20代 83,186人／30代 139,211人  
40代 224,281人／50代 78,283人

#### ■ 3月の20歳未満の登録者 205人

#### ■ 3月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数 921件

※数値は速報値のため訂正されることがあります。

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4 KTビル3階

TEL: 03-5823-6360 FAX: 03-5823-63657 E-Mail: office@marrow.or.jp